



Title	研究データの未来を築く：研究データ管理人材の育成 によるオープンサイエンスの拡がり
Author(s)	甲斐, 尚人; 古川, 雅子; 長岡, 千香子 他
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/101985
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

研究データの未来を築く： 研究データ管理人材の育成によるオープンサイエンスの拡がり

甲斐 尚人, 白井 詩沙香, 神崎 隼人, Voulgaris Nikolaos(大阪大学)
古川 雅子, 長岡 千香子(国立情報学研究所)

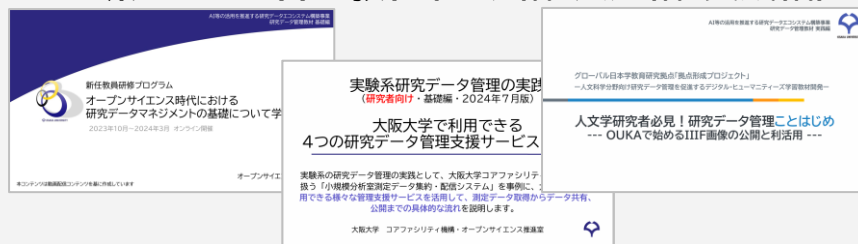
大阪大学と国立情報学研究所(NII)は、「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」の一環として、研究者・研究支援者向けに、研究データ管理の基礎的・実践的な知識を、学認LMSなど複数のプラットフォームを通じて広く提供しています。昨年度のセッションで報告した情報をアップデートし、最新の取り組みや課題を共有します。具体的には、研究者・研究支援人材向けの教育プログラムの概要、学習管理システムや個別最適化を実現する仕組み、質的研究分野での実践的な教育の試み、そして海外機関(ウィーン大学等)との連携について紹介します。

プログラム	登壇者
【情報提供】	
◆ 人材育成(研究データエコシステム構築事業)の取り組み紹介(10分)	甲斐尚人
◆ 学認LMSを活用した大学横断型の研究データ管理教育支援(10分)	古川雅子
◆ 職種別のスキルフレームワークと教材再利用(10分)	長岡千香子
◆ エスノグラフィー分野でのRDM教育(10分)	神崎隼人
◆ 国際連携の可能性と将来像:ベルリン自由大学との協働(10分)	Nikolaos Voulgaris
【ディスカッション】	
◆ 大阪大学オープンサイエンスシンポジウムの成果と示唆(20分)	全登壇者
◆ オーディエンスとの対話(10分)	

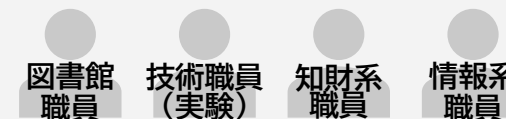
RDM人材育成の取り組みの全体像

- ◆ 学習教材(マイクロコンテンツ教材)の開発
- ◆ 学習教材の展開

研究データ管理教材(基礎編・共通編・実践編)



- ◆ 職種別スキルとマイクロコンテンツのマッチング
- ◆ 職種別の学習カリキュラムの開発



学習教材(マイクロコンテンツ教材) 研究データ管理支援人材に求められる標準スキル

研究データ管理教材の開発および展開

人材育成環境の水平展開

第一段階

第二段階

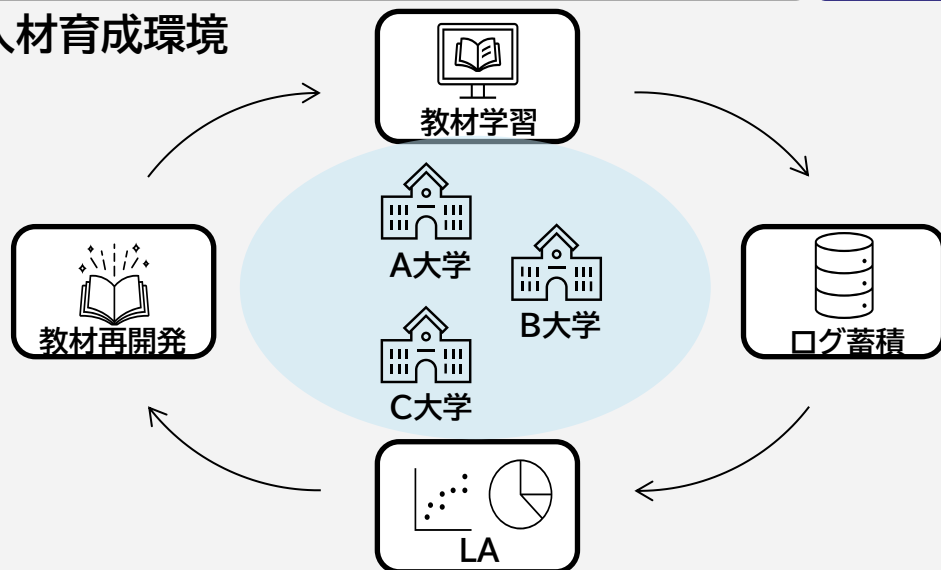
職種別の学習カリキュラムの開発

第四段階

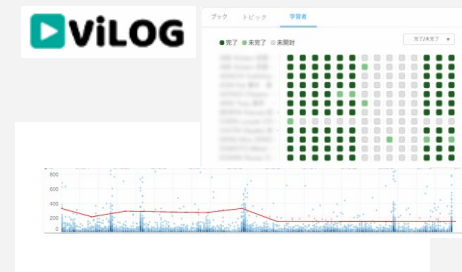
第三段階

LA基盤のプロトタイプ構築

- ◆ 人材育成環境



- ◆ 視聴・学習ログデータの集約
- ◆ ログの可視化・学習分析
- ◆ 学習教材の改善

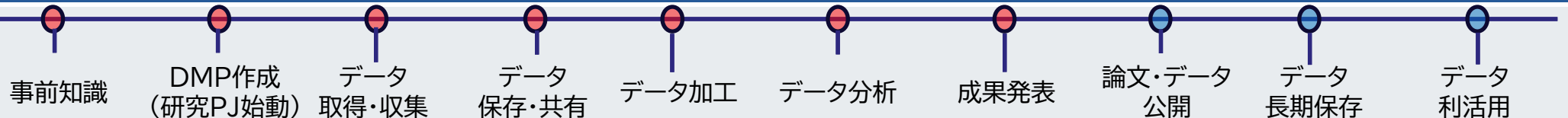


研究実施者・支援者への学習教材提供の考え方(検討中)

研究実施者	 研究代表者	 研究分担者	 学生	 研究支援者	考え方
法令・規定 専門分野 ルール					- 研究代表者や研究分担者は、法令・規定・義務等に応じたRDMを求められるため把握が必要。 - 研究支援者も研究代表者や研究分担者のサポートに把握が必要。 - 学生は研究代表者・研究分担者の指示に従う。
 基礎編					オープンサイエンスやRDMの理念の浸透が図るために基礎的知識の把握が必要。
 共通 実践編					- 対応が必要なRDMに関する実践方法の把握が必要。 - 学生は研究代表者・研究分担者の指示に従う。
 分野別 実践編					RDMやオープンサイエンスの可能性を広げる教材であり、学生(博士、修士)が主に対象。

研究支援者

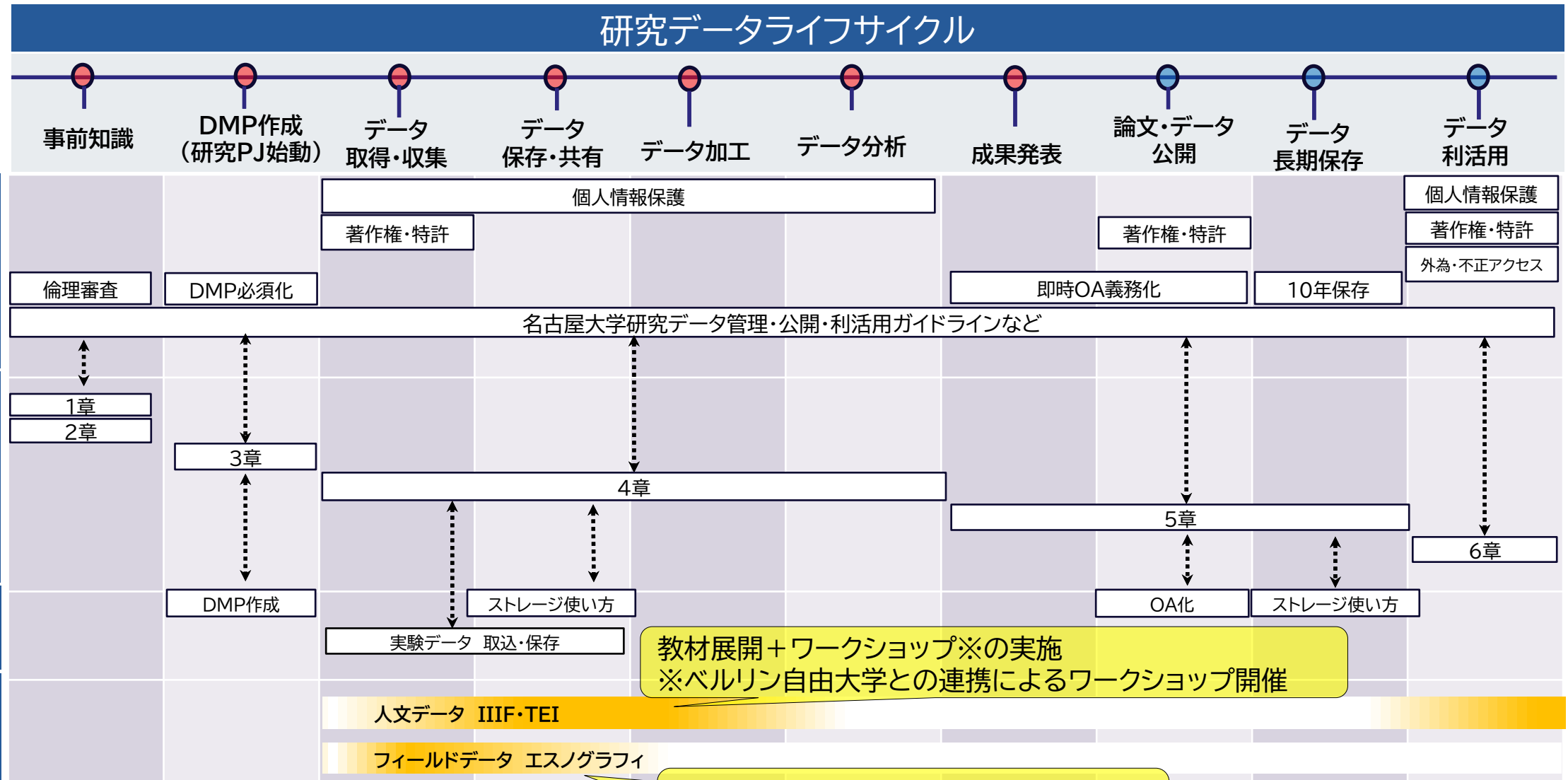
研究データライフサイクル



 研究推進									
 図書館									
 情報推進									

- 標準スキル表に基づくカリキュラム整理
- 個別最適化システムの開発

研究実施者・支援者への学習教材提供の考え方(検討中)



教材展開+ワークショップ※の実施
※ベルリン自由大学との連携によるワークショップ開催

教材展開+ワークショップ※の実施
※エスノグラフィラボ(講義の一環)

RDM基礎編の開発

「オープンサイエンス時代における研究データマネジメント基礎」

研究実施者

	 研究代表者	 研究分担者	 学生	 研究支援者
法令・規定 専門分野 ルール				
 基礎編				
 共通 実践編				
 分野別 実践編				

構成

- 研究データマネジメントを知る
- 研究データポリシーと関係規程等
- 研究データ管理計画(DMP)
- 研究データを取得・収集および保存・共有する
- 研究データを公開する
- 研究データを利活用する

RDMサイクルに沿って背景知識を教材化

職種別の学習カリキュラム作成

学内展開(FD研修)

オープンサイエンス時代における 研究データマネジメント基礎

講師：甲斐 尚人 (D3センター 准教授)

日程：4月1日～3月31日

(キーワード) 研究データマネジメント、オープンサイエンス、研究データ基礎、研究公正、研究データ管理計画、大阪大学研究データポリシー

(概要) 世界的なオープンサイエンスの潮流によって、体系的かつ組織的な研究データマネジメントの重要性やそのあり方が近年注目されています。競争的資金においても、研究データ管理計画 (DMP) の作成や研究成果のオープンアクセスが求められつつあり、2025年度より新たに公募する対象研究費については、論文及び根拠データの即時オープンアクセスを義務づけるよう決定されました。このような状況を踏まえ、本研修では、オープンサイエンスの動向や本学の研究データポリシーの解説を行うとともに、研究データライフサイクルの各段階の留意点と本学の研究データ基盤整備の状況等について説明します。

【問合先】 研究推進部 研究企画課 研究企画係 ☐research-support@office.osaka-u.ac.jp

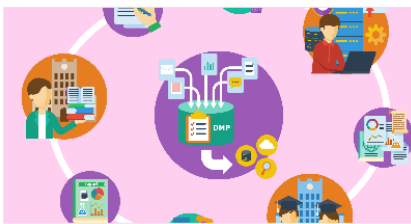
【申込方法】 (事前申込不要) マイハンダイ>大学本部事務機構>研究推進関係 / About Research Promotion>(CLE 研修) オープンサイエンス時代における研究データマネジメントの基礎について学ぶ。

受講完了には、確認問題とアンケートの回答が必須です。】



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

学外展開(学認LMS・OUKA・大阪大学特設サイト)



オープンサイエンス時代における研究データマネジメント基礎

[ReadMore >>](#)

OK 大阪大学学術情報庫
The University of Osaka Institutional Knowledge Archive

検索画面選択 利用案内 収録辦法一覧

一覧へ戻る

オープンサイエンス時代における研究データマネジメント
大阪大学研究推進部 オープンサイエンス推進室
2023

ファイル	フォーマット	利用条件	サイズ
2023_RDM_ALL1	pdf	なし	886 KB
2023_RDM_ALL2	pdf	なし	1.32 MB
2023_RDM_ALL3	pdf	なし	2.18 MB

大阪大学オープンサイエンス推進室
研究データ管理・オープンアクセス支援

研究計画とデータマネジメント 研究データの取得・収集・保存・解析 研究成果の公開と利活用

研究データ管理(RDM)基礎編動画

RDM基礎編ウェブサイト1
中絶済み

オープンサイエンス時代における
研究データマネジメント基礎
2024年12月

RDM基礎編ウェブサイト2
中絶済み

研究データポリシーと関係規程等

RDM_Complete
中絶済み

Fundamentals of
Research Data Management
in the Open Science Era

Research Data Policy and
Related Regulations

RDM共通実践編(OA・DMP)の開発

研究実施者	研究代表者	研究分担者	学生	研究支援者
法令・規定 専門分野 ルール				
基礎編				
共通 実践編				
分野別 実践編				

「オープンアクセスを巡る状況と大阪大学におけるオープンアクセス支援」

構成

- オープンアクセスの方法
- オープンアクセス出版とAPC など

「研究データ管理計画(DMP)とは 研究計画とデータマネジメント〈学習編〉」

構成

- 研究データ管理とDMPの関係
- 研究データ管理計画(DMP)を作成時にポイント など

学内展開(OA:FD研修)

オープンアクセスを巡る状況と大阪大学におけるオープンアクセス支援

講師：図書館職員

6月2日～3月31日

〈キーワード〉オープンアクセス、論文掲載料、転換契約、租悪学術誌・ハゲタカ

〈概要〉電子ジャーナルの価格高騰、論文掲載料 (APC) を必要とする学術誌 (いわゆるハゲタカジャーナル) の出現など、大きく変化するオープンアクセスを巡る動向を学びます。加えて、大阪大学におけるオープンアクセス支援について学びます。

《問合せ先》附属図書館 図書館企画課 企画係 ☐ tosyoko-kikaku-kikaku@lib.osaka-u.ac.jp

《申込方法》事前申込不要・大阪大学 CLE にて動画を配信します。

受講後所定のフォームから受講報告をしていただきます。

新任教員研修プログラム
オープンアクセスを巡る状況と
大阪大学におけるオープンアクセス支援

大阪大学附属図書館 学術情報整備課
電子コンテンツ担当

学外展開(大阪大学特設サイト)

研究データ管理計画(DMP)とは

研究計画とデータマネジメント〈学習編〉

「研究プロジェクト等における研究データの取り扱いを定めるものであり、具体的にはデータの種類、フォーマット、アクセス及び共有の方法に関する計画などについて記載されるもの。」

引用：文部科学省科学技術・学術審議会学術分科会学術情報委員会(2016、2、26)「学術情報のオープン化の推進について」(審議要旨)

日本学術振興会 科学研究費助成事業(科研費)

科研費における研究データの管理・利活用等について

- 「科研費での研究の実施にあたっては、研究データの管理計画であるデータマネジメントプラン(DMP)を活用し、研究データの適切な管理や利活用の促進に努めていただきます。」
- 「研究者は、オープン・アンド・クローズ戦略に従いDMPを策定し、それに基づいてデータの公開・共有を行ってください。」
- 科学研究費助成事業データマネジメントプラン(DMP)(作成上の注意)

日本医療研究開発機構 戦略的創造推進事業(革新的先端研究開発支援事業)

AMEDにおける研究開発データの取扱いに関する基本方針、AMED研究データ利活用に係るガイドライン、データマネジメントプラン

- 「(「省時」研究開発データの種類の、保存場所等、データの管理責任者、データシェアリングその他のデータ利活用の方針等を記載する「データマネジメントプラン(DMP)」(以下、「DMP」という。))を委託研究開発契約等の締結時に提出することを義務化している。」
- 「DMPには、AMEDが委託者となる委託研究開発契約等において、どのようなデータが創出、取得又は収集され、誰がどこに保有しているのかを記載することが求められる。」
- AMED 研究データ利活用に係るガイドライン2.1 版

研究データのライフサイクル

研究データのライフサイクル

研究データの取扱い計画の策定

研究データの取扱い

研究データの取扱い

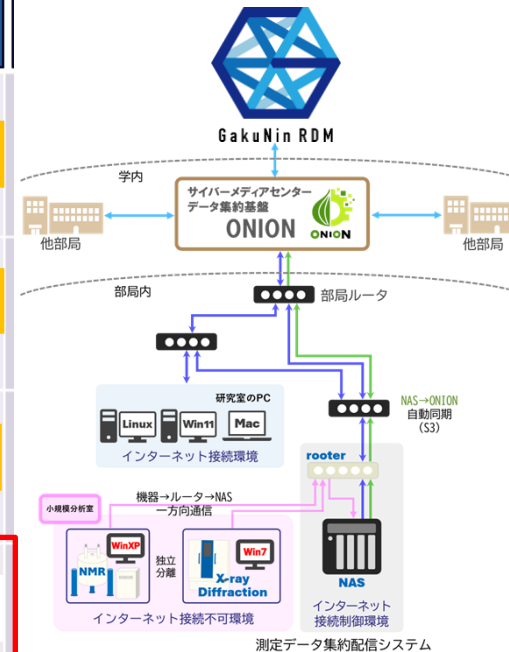
出典：大阪大学研究推進本部オープンサイエンス推進室、「3. 研究データ管理計画(DMP)」, オープンサイエンス時代における研究データ管理について学ぶ

研究データ管理とDMPの関係

RDM実践編教材(実験データ)

コアファシリティ機構と協働

研究実施者	 研究代表者	 研究分担者	 学生	 研究支援者
法令・規定 専門分野 ルール				
 基礎編				
 共通 実践編				
 分野別 実践編				



実験系研究データ管理の実践

小規模分析室測定データ集約・配信システムを用いた
測定データの管理 ～データ取得から共有・公開～

大阪大学 コアファシリティ機構
オープンサイエンス推進室

小規模分析室測定データ集約・配信システムについて

<背景>

- 分析機器制御PCの一部にはサポート対象期間外のものが稼働 (Win7・XP etc.)

インターネット接続は基本的に禁止

測定データの移送はUSBメモリなど
デバイスが必要

- ・ 手間がかかる
- ・ 紛失リスク
- ・ ウイルス感染リスク ...

データ移送には
デバイス必須

インターネット
接続不可！

小規模分析室
測定データ集約・配信システム

➤ 学内展開

「小規模分析室測定データ集約配信システム」を導入済みの計8部局に教材を展開
(基礎工、工、歯、薬、超高压電顕センター、レーザー研、理、コア工作)

➤ 学外展開

ユースケースで本学と同仕様のシステムを導入した阪奈機器共用ネットワーク(大阪公立大学、奈良工業高等専門学校)に展開

人文学研究科と協働

[illegible]

RDM実践編教材(エスノグラフィデータ) 人間科学研究科と協働

- 大阪大学人間科学研究科を中心に社会科学分野の質的な研究手法「エスノグラフィ」におけるデータ管理教材を開発
- 人々に関する独特なデータに対応した取得、収集、保存、共有を開発する必要がある。2024年度に開発着手、2025年度の学内公開を目指す。

RDMサイクルに沿って背景知識を教材化

学内展開(CLE)学外展開(OUKA)で展開予定

既存のオープンラボでワークショップを計画予定※エスノグラフィラボの取組みはこちらから
<https://ethnography.hus.osaka-u.ac.jp/>

2025年度

1

エスノグラフィの研究データ管理入門

オープンサイエンス時代のなかで

附属図書館

人間科学研究科 人類学／科学

本教材は「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」における研究データ管理教材実践編として作成されました

コースの構成

- 講義1 … エスノグラフィの研究ライフサイクルと研究データ
- 講義2 … エスノグラフィの研究データの特質と研究倫理、研究データ管理計画
- 講義3 … エスノグラフィのフィールドワークを実施する
- 講義4 … エスノグラフィを作成する:データの分析、整理、共有
- 講義5 … 本学における「オープン・エスノグラフィ」の試み

フィールドワークでの研究データ管理



- フィールドワークでの研究データ量は膨大
- 研究データのバリエーションも様々(講義2参照)
- ⇒ エスノグラフィの研究データ管理を身に着ける必要

リチャーズ, L. 2009『質的データの取り扱い』大谷順子・大杉卓三訳 北大路書房, pp. 77-8.

取り組み成果の展開状況まとめ

※赤字部分は
学外からも確認可

◆ RDM基礎編教材

- 新任教員研修を実施中
- 学認LMS・機関リポジトリOUKA・大阪大学特設サイトで公開中

◆ RDM共通実践編教材

- オープンアクセス編
 - 新任教員研修を実施中
 - 機関リポジトリOUKAで公開予定
 - 大阪大学特設サイトで公開中
- データ管理計画(DMP)編
 - 大阪大学特設サイトで公開中

◆ RDM実践編教材

- 実験データ管理編
 - コアファシリティe-learningシステムで限定公開中
 - 機関リポジトリOUKAで公開中
- デジタルヒューマニティーズ(IIIF・TEI)編
 - 新任教員研修を実施中
 - 機関リポジトリOUKAで公開予定
 - 学認LMSで限定公開中(IIIF)
 - ベルリン自由大学と協働のワークショップ開催を計画中
- エスノグラフィー編
 - 機関リポジトリOUKAで公開予定
 - エスノグラフィラボでハンズオン教育を実施予定



研究者のみならず、例えば、こんな悩みはありませんか？

